

議 事 録

件 名：令和2年度第3回さぬき市地域公共交通会議

日 時：令和3年（2021年）1月8日（金）午後1時30分～3時30分

場 所：さぬき市役所3階301・302会議室

出席者：紀伊会長、尾崎委員（会長職務代理）、佐藤委員（代理出席）、
六車（誠）委員、白山委員、六車（均）委員、松本委員、山内委員、
頼富委員、村上委員、溝渕委員、宮本委員、木村委員、
近藤委員（代理出席）、佐々木委員、中野委員、南委員、間島委員
元山委員、西丸委員、堀委員

アドバイザー：国土交通省四国運輸局交通企画課 手嶋課長

事務局：（都市整備課） 津田課長、満濃主幹、津村副主幹

傍聴者：0人（新型コロナウイルス感染症予防対策の一環として傍聴受付なし）

配布資料：資料1 さぬき市コミュニティバス再編見直しの方向性について
資料2 さぬき市地域公共交通計画（素案）
参考資料 さぬき市地域公共交通会議設置要綱

【次第】

1 開 会

事務局 さぬき市都市整備課 津田課長

2 会長挨拶

紀伊会長

3 議題

（1）さぬき市コミュニティバス実証運行状況について

事 務 局：資料説明（資料1）

- 会長：それでは皆さんからご意見や質問をいただきたい。10 月と 11 月との比較なので傾向を読み取るのは難しいかもしれないが、よろしければ調査結果から利用減少の影響が大きかった徳島文理大学の方からご意見をいただきたい。
- 委員：香川キャンパスにおいては約 1300 人の在籍数に対して、アンケートによると約 300 人がコミュニティバスを利用している。11 月以降については構内のバス停から降りてくる学生を数えると本当に（300 人も）使っているのかという感想を持っている。調べてみると 8:10 発が 15 人～19 人、8:35 発が 25～37 人、8:40 発が 20 人～46 人で、実証運行が始まってからは朝の便が 1 台小型車両になり、そこに琴電と JR からの学生が集中している。例えば、8:35 発に対しては下りの 8:30、上り 8:13、琴電 8:25 の学生が集中してしまい、琴電からの学生は密を避けて歩いている状況が見られる。それと、天野が増えているが、9:03 の JR 志度駅発のジャンボタクシーに乗った場合、天野に乗客がいたら、乗務員が学生に対して降りよう要請していると聞いている。学生よりも遠くに行くお客様を優先したい気持ちがあるのだろうと思う。さらにダイヤ改正により 2 講義開始時間に余裕を持って合うバスがなくなったし、13:05 分開始の 3 講義目に適したバスがなくなったため、利用者の減少の一因になっていると思う。帰りについていうと、学校終了時刻と発車時刻が合わないので歩いて帰った方がいいだろうと判断していると聞いている。わずかな時間差が積みもり積もった数字と考えている。
- 会長：詳細な報告をありがとうございました。ご意見として伺ったうえで必要な検討を進めていく。続いて交通事業者から意見をお願いしたい。
- 委員：利用者が減少したのは想定範囲内と考えている。これまで利用していた人が多少不便になって、これから便利になる人はまだ使い始めていないのではないかと。目の前にバス停があってどこかに行けることがわかっていても踏み切れていないのではないかと。ある程度の期間がたてば利用が増えるのではないかとと思っている。乗務員からもダイヤについて意見を聞いているため見直しに反映していきたい。
- 委員：ザ・ビッグ寒川店の中は歩行者や車が多く非常に危険であるため、できればコメリの方から進入してスタンドの前にバス停を設置し、そのまま抜けていくほうが安全で良いのではないかと。また、志度県住は外周道路を右回りで一周回るが、駐車している車はないものの左回りで走ってくる車がいったり、道が狭く、カーブが見えづらく、道に慣れていると車両スピードが出やすいため、急ブレーキが踏めないバスとしては、できれば一方通行にして欲しい。多和線のバスの休憩時間が長いのは、お客様からクレームが多くなるので改善いただいてもかまわない。
- 委員：今のところ、乗り継ぐ利用者が減少している。まだ新しいダイヤが浸透していないように感じる。西浜バス停は何回も通過することになるため、運転手も利用者も混乱

している。先ほど意見のあった天野における降車の要請があったことについては改めて乗務員を指導したい。

委員：ダイヤ改正したばかりなのでもう少し様子を見る必要がある。10月と11月の比較では休日の日数が多いという違いもあるので、動向をじっくりみていく必要があると思うが、大きく減少している中で授業に間に合わないというような物理的な事案についての対応は必要な気がする。

会長：ありがとうございました。他に全体を通してご意見はあるか。この報告は実証運行をはじめて1ヶ月なので、状況を注視しながら先ほど出た意見を踏まえて検討を進め、見直し案がまとまったら委員のみなさんに報告いただきたい。

（２）さぬき市地域公共交通計画（素案）について

会長：地域公共交通計画を簡単に説明すると、様々な移動ニーズに地域ぐるみで応えるために、誰が何をいつまで実施するのかなどを計画書としてまとめたものである。昨年11月27日に施行された地域公共交通活性化再生法に基づく新しい取組になるので、まずは国交省から計画の概要や作成時のポイントなどを説明いただきたい。

アドバイザー：説明

委員：組織的な内容だが、地域公共交通会議の最初に市長から諮問があったのはコミュニティバスの再編であって、その時に（さぬき市地域公共交通会議設置要綱）第2条の1～3は無かったので、1月1日改正を受けて諮問が増えたということか。要綱に追加した意味合いを教えてほしい。今までと違う話が急に出てきたように思える。都市計画マスタープランを策定する会の中で考えるべきなのか、その中の地域公共交通計画だけ本会で引き受けるという感じなのか。組織的な話を教えてほしい。

事務局：昨年度の初回での市長からの言葉は、市内の公共交通をもっと使いやすくするように、その中でまずはコミュニティバスの見直しで結果を出してほしいという内容であった。よって、議論した内容を従来の地域公共交通網形成計画としてまとめることも意識しながら、市民アンケートをとったり、1次交通との役割分担や市全体の公共交通網の目指すべき将来像なども、この会での協議を経て決めてきた。そのうえでまずコミュニティバスのダイヤなどを決めて実証運行に取り組んでいるのが現状だ。法改正を受け、地域公共交通のあり方を（地域公共交通計画という）法定計画としてまとめあげる作業は、これまで市内の公共交通について話し合ってきたこの会で取り組むべきものであり、要綱上は文言追加となっているが会の目的などに変更はないと考えている。一方で公共交通は都市計画とつながりが深いので、都市計画の見直し作業と時期を合わせることで連携していくことも当初の想定どおり進めている。また、これまでの結果を法定計画としてまとめるための協議をこの会で行うことについては、前回の会議で紀伊会長が提案し、異議なしとなったことも踏

まえて要綱を改正した。繰り返しになるが本会議の協議内容を特別に変更したわけではないので、本議題については、これまでの協議結果をどう実現させていくかの視点で話し合っていたきたい。

会 長：素案の説明について事務局をお願いしたい。

事 務 局：資料説明（資料 2）

会 長：冒頭はこれまでにご覧いただいてきた内容をまとめたものなので、時間の都合上、80ページ目以降で自由に発言いただきたい。まずは計画の形式や内容について手嶋様から何かありましたらお願いしたい。

アドバイザー：法律に則った計画構成になっていると思われる。ネットワークについてもコミュニティバスが中心となっはいるが、幹線支線の役割分担もされているし、目標指標も努力義務化された収支率や利用者数なども定量的に押さえるようなので適宜報告をお願いしたい。目標の中で質問だが、外出頻度の指標のカウントの仕方と考え方を教えて欲しい。

事 務 局：国保・健康課が開催している生活習慣病予防教室と健康相談の参加者数を年間で合計した数値としている。予防教室は市内いろいろな場所で開催され、外出しないと参加できないので総合計画の指標にあわせて設定した。

アドバイザー：外出頻度を想定できる指標であると思う。可能かどうかはわからないが、何の手段で来たのかまで聞けると、どういう方に公共交通が使われているかなどより精緻にわかると思った。また、公共交通が地域の商業や観光の活性化にどのように寄与しているのかについても目標設定時点から関係者間で共有すれば公共交通の意義づけにつながると思う。観光との連携でいえば、例えば観光地近くのバス停の乗降者数なども考えられる。

委 員：利用者数の目標値は持続可能な利用者数を目標にしようと思うが、徳島文理大香川キャンパスが（2025年4月に）移転することをどのように考えるのか。

事 務 局：コミュニティバス、JR、琴電問わず、移転により利用者は減少すると思う。現況値は大学生の利用が入っている数字となっているため目標値をどうするかは現実的な判断も必要と考えている。しかし、大学がなくなるわけではないし、他の取組によってどれほどカバーできるかも含め、算出方法や目標値について、関係する事業所と協議して決めていきたい。

委 員：香川キャンパスが高松市に移転する理由の一つとして交通利便性を挙げている。コミュニティバスは利用している人には非常に便利であるが、市南部や中部の西方面など、30分歩いて公共交通機関がないような空白地域の対策に力を入れて欲しい。実施事業 12 にしっかり取り組んでもらいたい。

会 長：文理大もキャンパスを手放すわけではなく、いろいろと活用するようなので今後とも協力いただきたい。また、計画書については今後パブリックコメントを実施するので、みなさんご意見をいただきたい。

（３）今後のスケジュールについて

事 務 局：本日の意見や目標値などについて再整理して素案を作成し、会長に確認いただき、庁内決裁を経てパブリックコメントを実施する。パブリックコメントが終わったら、市の意見をまとめて委員の皆さんにお示しし、ご意見をいただく流れで計画策定につなげる。また、本格運行に向けたコミュニティバスの見直しについては、その内容を交通事業者と調整し、2月中には委員の皆さんにお示しして御了解をいただき、3月中に四国運輸局に申請していきたい。

４ 事務連絡

事 務 局：書類の提出依頼

５ 閉会